

共感して共有

荒川区男性介護者の会

オヤジの会



「縁があつた人。」

いとしさや愛を忘れないで」

「縁があつた人。」
いとしさや愛を忘れないで」
会長の荒川さんは、難病による転倒で脳内出血からベッド生活の始まった奥様を昭和61年から8年間在宅で介護されてきました。奥様が51歳、荒川さんは59歳でした。建築の自営業をする傍らでの介護は試行錯誤の連続また、日常生活の食事・洗濯も全て奥様任せだったので、とまどいしました。

「いつも美味しいと言ってくれました」

梅干を作ったり、糠みそもつけたりと介護に追われる中、奥様に愛情を注いだ食事を作っていました。また、本職を生かしてワイヤーで移動する昇降機を開発して設置し、手すり、室内歩行器・シャワーチェア・食堂のイスをくりぬきポータブルトイレ等を奥様のために作りました。

「ふたぎ込んだらダメ。」

自分が持たない。」

長男の方を2年前、難病で亡くされ、昨年11月に次男（47）も介護状態になり、経営していた会社も休業状態で在宅介護を一人でされています。障害者手帳の申請はしてありますが、介護保険は40歳以上65歳未満では、初老期認知症、脳血管障害などの老化に伴う病気又は特定疾病（末期ガンなど）の介護が必要になった場合だけしか介護保険のサービスを受けることができません。

「叱らないこと。」

本人は好きで病気になったわけじゃないからその理解をして、朗らかにいつも笑顔で」
食べることができるようになった、歩けるようになったことが荒川さんの喜びになっています。伺った時は、息子さんのベッドに座って終始にこやかに話されており、それにつられて息子さんも笑顔でなごやかな雰囲気でした。

「介護は奥が深い」

3月8日、京都市内で「男性介護者と支援者の全国ネットワーク」が設立され荒川さんは、代表になりました。

「オヤジの会」は2ヶ月に1度偶数月の第3土曜日に定例会が開かれています。

介護に役立つ学習会と情報交換、それにちよつとお酒の入った本音で語り合う懇親会でストレス発散、出席率は80%です。知恵袋を開けに一步踏み出さませんか。荒川さん達が笑顔で共感し共有してくれます。

オヤジの会

会費 年間2400円（月額200円）

懇親会参加費1000円

ボランティアも募集しています。

連絡先：荒川不二夫 TEL 03-3893-4993

FAX 03-3893-4763



<http://nomatu.ld.infoseek.co.jp/index.html>